

聖霊降臨節第9週 主日礼拝

2016年7月17日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(しばらく休会とします)

前奏	(諸天は神の)	奏楽者
招きのみことば	『ガラテヤ人への手紙』2章20節	司会者
※開会の賛美	新聖歌10「天地に勝る」	— 同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	— 同
代表祈祷	司会者
感謝の賛美	新聖歌251「主イエスの御側に」	— 同
聖書朗読	『出エジプト記』12章21-36節(旧約116頁)	司会者
黙想	— 同
メッセージ	「いのち塗られて」	近伸之牧師
※応答の賛美	新聖歌364「わが主イエスよ ひたすら」	— 同
感謝の献金	(新聖歌58)	— 同
感謝祈祷	片山 初子姉
諸報告	(諸報告および暗唱聖句)	司会者
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こぞりて」	— 同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	— 同
※祝福の祈り	近伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-5)	

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会・説教：近伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄	献金：沼田佐代子姉
司会	：近伸之牧師	奏楽	：近 ゆかり姉
集会	：笹川 清子姉		C S 担当：佐藤 繁実兄
映像・音響	：片山 勝三兄	録画	：近伸之牧師
			カナン担当：片山 初子姉
			掃除：片山 麻美姉

説教メモ

- 1) 九の災害(出7～10章)にも心頑ななパロに対して、最後のさばきが迫る。それは長子の突然死だった。
- 2) 国じゅうが長子をつ失った叫びで溢れる中、イスラエルの家だけは、塗られた血により「死」が過ぎ越した。
- 3) 過越祭のさなか十字架につけられたイエスは、まことの過越をもたらす。心の柱に彼の血を塗りつけよ。

先週のみことば

「わたしはあなたとともにいる。これがあなたのためのしるしである。わたしがあなたを遣わすのだ」
(『出エジプト記』3章12節)

今週のみことば

「御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます」
(『ヨハネの手紙 第一』1章7節)

個人、団体からの来信

2016年7月17日

TCUより領収証／東北地区KKGより、活動報告他／北海道聖書学院より、『学院通信』第81号／巻キリスト教会より「ぶつとびセミナー」案内[8月7日(日)PM1:30よりプレイズチャペルにて]および「オンギジャンイ・新潟ツアー」案内[9月14日(水)より19日(月)会場については掲示した案内を参照ください]

先週の集会出席者数

7/10(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子1 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児1 成人女性2
	第一礼拝	男3 女3 計6 7/11(月) 実用書道教室 男3 女7
	第二礼拝	男8 女16 計24 7/11(月) 月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児1 女児5 7/13(水) 新潟山形僚携会 男3 女6
	※夕拝はしばらく休会としています	7/15(金) シャベリ場タビタ 男- 女5 男児1
		7/15(金) 金曜祈祷会 男- 女4

諸集会のご案内

		※毎月、実用書道教室を開催	
7/18(月・祝)		月曜家庭集会	(休会とします)
7/20(水)	午後7:30	救 禱 会	教会堂 司会：笹川 清子姉
7/21(木)	午前9:30	シャベリ場タビタ	渡邊智子姉宅にて 問合せ先：渡邊 智子姉
7/22(金)	夜	金曜祈祷会	教会堂

7/24(日) 聖霊降臨節第11週

第一礼拝	司会：近伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄	
午前8:00	説教	献金：沼田佐代子姉	
教会学校	午前9:00	担当：片山 初子姉	
歓迎礼拝	司会：横堀 正美兄	音響・賛美：賛美チーム	感謝祈祷：小林 洋子姉
午前10:30	集会：小山 千春姉	録画：近伸之牧師	掃除：小林 洋子姉
	映像：近伸之牧師		

第1部 歓迎の賛美
第2部 聖書：『出エジプト記』13章21節～14章31節 応答：208
(献金：58) 頌栄：198 派遣：54 (後奏：59-6)

主日の予定	愛餐会 賛美練習	午後2:00	礼拝堂にて
-------	-------------	--------	-------

諸般の事情により、主日の夕拝をしばらくの間休会とします。

報 告

1. 本日の予定
礼拝の恵みを感謝します。礼拝後は昼食をいただき、午後2:00よりカナン訪問を行います。本日は片山初子姉が司会進行および聖書のお話を担当して下さいます。皆で協力して姉妹の務めを支えましょう。
2. 先週の集会参加者
7月15日(金)シャベリ場タビタに岩名美咲さんが参加されました。
3. 個人の予定について
先週7月15日(金)から明日まで聖ヶ丘キャンプ場で行われているECS(英語キャンプ)に反町歩姉が参加しています。また、明日より22日(金)まで韓国の祈禱院で行われる集會に伊東一馬兄が参加予定です。祝福と守りを祈りましょう。

新潟県にあります敬和学園の名誉校長をされていた太田俊雄先生が、まだ二歳にもならなかった頃の事でしょうか。その町でも権威の、ある小児科医から、手おくれと診断され、入院しても無駄だとサジを投げられたことがあったそうです。

しかし、お母さんは、「たとえ天下一の名医がサジを投げても、お母さんはサジを投げん」と固く心に念じて病院をあとにしたそうです。ところが家に帰る途中、知り合いの方に会い、事情を話しますと、その方がお灸の先生を紹介してくれたのだそうです。そのときの赤ちゃんが太田先生というわけです。

もうかれこれ二十年前になりますが、私の親しくつき合っている知人が脳腫瘍の大手術を受けたことがあります。私も東大の脳外科に行き、彼のために血を提供したのですが、そのとき執刀にあたった佐野先生に、手術室に入る直前「どうぞよろしく」と何度もお願いをしました。

そのとき、佐野先生のおっしゃった言葉が忘れられません。「成功しても、寝たきりか、植物人間か。しかしベストを尽くしてみます!」

そのときの彼は、今も元気で朝早くから仕事に出かけます。

小さな赤ちゃんに対する母親の態度や、執刀直前の医師の態度などから、ひとつの命への真

実、愛さえも感じないではられません。

ところがイエス・キリストは、まさにそういうお方なのです。聖書はキリストについて、こう述べています。

「世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された」

(『ヨハネの福音書』13章1節)

これは、十字架にかかる前夜のキリストの姿です。このキリストの真実な愛の中に、あなたの真実の人生が始まるのです。

「あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたをわしの翼に載せ、わたしのもとに連れて来たことを見た。今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中にあつて、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから」

(『出エジプト記』19章4～5節)



鷺草(さぎそう)は、日当たりの良い山野の湿原などに生えるラン科の多年草で、花期は七月ごろ。白鷺が舞うさまに似た花が咲くためこの名がある。

2016年度教会目標

「信仰の家族に善きことを」

年間目標 それぞれに違った賜物を与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「機会のあるあいだに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう」(ガラ6:10)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30～6:00 BSNテレビにて放送中です。

☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



7/23(土)「全人医療を目指して」田頭真一さん

沖縄県那覇市にある特定医療法人 葦の会「オリブ山病院」の理事長・田頭真一さんを2週にわたって紹介します。「オリブ山病院」は、キリスト教精神に基づき、患者の肉体的、精神的、社会的、さらに霊的ないやしを含めた全人医療を実践しています。精神科、内科とともに、沖縄県で最初に開設されたホスピス病棟を備え、終末期医療にも対応しています。「からだどころとたましいが一体である人に仕える医療と福祉」という理念のもと、チャプレンが在院し、病棟での礼拝や祈り会などで聖書からのメッセージを伝えるなど、たましいのケアも行っていきます。病院の様子を紹介するとともに、理事長の田頭真一さんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

